

能登町 調査総括表(1/6)

調査番号	3	県名	石川県	市町名	能登町			
1. 被害の状況等								
(1) 被災前の人団(R5.10.1)			被災状況図					
総人口	14,385 人							
年齢階級別人口								
項目	0-14 歳	15-64 歳	65 歳以上					
人口(人)	1,003	5,809	7,571					
比率	7.0%	40.4%	52.6%					
(2) 人的被害の状況(R7.3.25)								
死者	60 人 (うち災害関連死者 58 人)							
行方不明者	0 人							
(3) 都市計画等の状況								
都市計画区域	一部都計区域							
市街化区域	区域区分 無							
用途地域	用途地域指定 無							
(4) 建物等被災の状況 (R7.3.31) ※割合は行政区域等の各区域に示す割合								
区域	総軒数 (軒)	全壊区域		半壊区域		一部損壊区域 (軒)	流出軒数 (軒)	
		軒数(軒)	割合(%)	軒数(軒)	割合(%)			
行政区域	22,334	1,453	6.5%	3,753	16.8%	8,043	36.0%	
都市計画区域	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	
用途地域	-	-	-	-	-	-	-	
(5)津波浸水被害の状況			(6)液状化被害の状況		(7)火災被害の状況			
区域	総面積(ha)		軒数(軒)	総面積(ha)				
	面積(ha)	割合(%)		面積(ha)	割合(%)			
行政区域	約 63ha	0.2%	不明	0.17	0.0006%			
都市計画区域	約 63ha	0.2%	不明	0.17	0.0006%			
用途地域	-	-	-	-	-			

能登町 調査総括表(2/6)

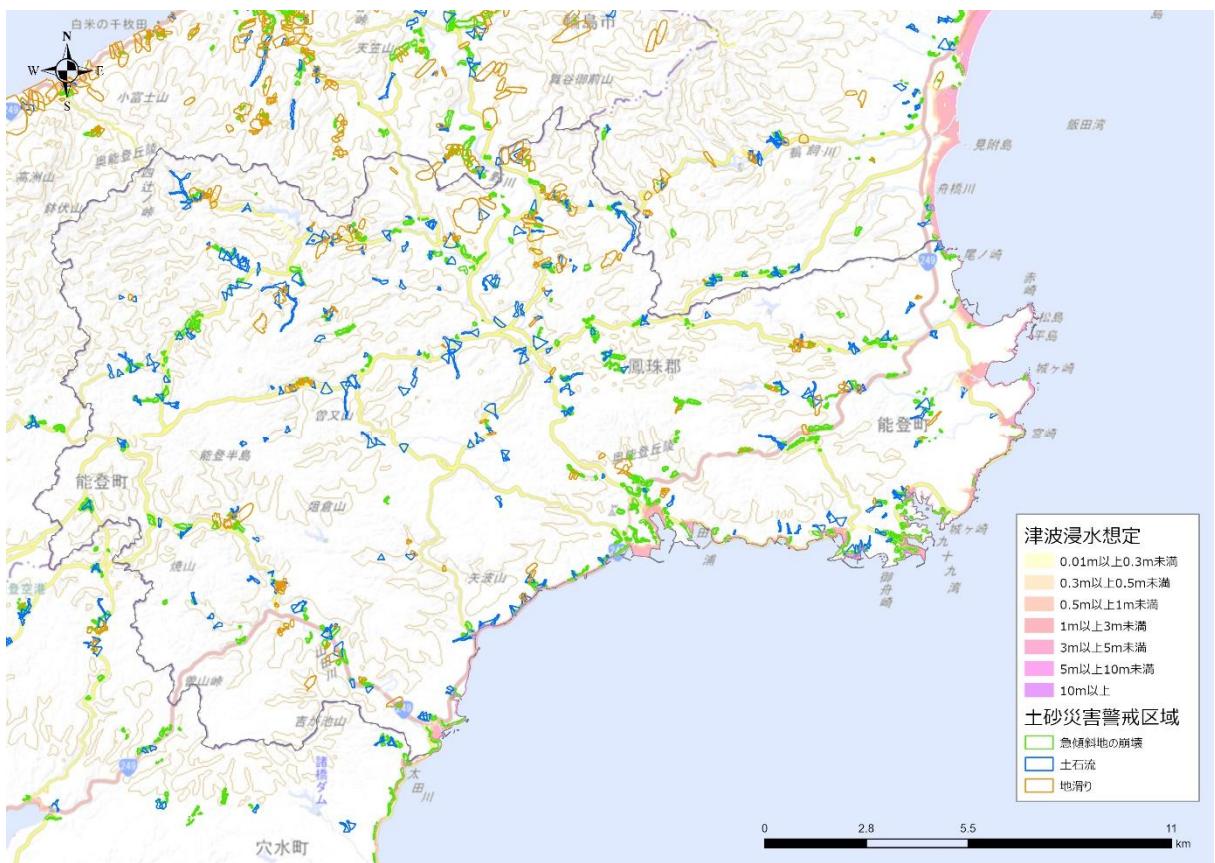
(8)インフラの状況(R7.1.31)					
区分		被害状況	復旧状況	備考	
道路		地震	455 路線	全て査定済み	
		豪雨	1 路線	全て査定済み	
電気		豪雨	230 戸	復旧	
水道	上水道	地震	1,029 件 6,220 戸（断水）	全て査定済み 断水復旧	断水復旧日 : R6. 5. 2
		豪雨	640 戸（断水）	断水復旧	
		地震	3 箇所	断水復旧	
	水施設	豪雨	22 戸（断水）	断水復旧	復旧日 : R6. 9. 27
	小規模水道施設		浄化槽 : 183 基	浄化槽 : 工事完了 135 基	
	その他水道施設		-	-	
下水道	公共下水道		19.0km	全て査定済み	
	漁業集落排水		1.2km	全て査定済み	
	農業集落排水		35.5km	全て査定済み	
通信	電話		-	-	
	インターネット		-	-	
	ケーブルテレビ		-	-	
(9)仮設住宅の整備状況					
区分		世帯	整備状況	備考	
応急仮設住宅		529 世帯	571 戸整備		
みなし仮設住宅			238 戸		

能登町 調査総括表(3/6)

2. 各種ハザード・過去の被災状況

(1)各種ハザード状況

- 津波浸水想定・土砂災害警戒区域



(2)過去の被災状況およびその後の対策

■平成 19 年能登半島地震

- 平成 19 (2007) 年 3 月 25 日 9 時 41 分、能登半島沖の深さ 11km でマグニチュード 6.9 の地震が発生
- 人的被害：死者 0 名、重傷者 2 名、軽傷者 10 名
- 住家被害（棟）：全壊 1 棟、半壊 10 棟、一部損壊 1,130 棟

出典：石川県「平成 19 年能登半島地震災害記録誌」

能登町 調査総括表(4/6)

3. 被災前の上位関連計画策定状況

- 能登町第二次総合計画 (H28.3月策定)
- 能登町地域公共交通計画 (R5.3月策定)

※都市計画マスターplan、立地適正化計画 未策定

4. 被災前の開発・事業計画状況

- 宇出津地区都市再生整備計画 (H27.1月第6回変更)
- 小木地区都市再生整備計画 (H31.1月第4回変更)

5. 復興計画の策定状況

(1) 復興事前準備の状況

- 事前復興まちづくり計画 無
- 地域防災計画 有

(2) 復興計画等の策定状況

	名称	策定年月日	委員会	パブリックコメント
復興計画	能登町復興計画	2025年2月13日	有	有
その他の方針・計画	無			

(3)復興計画の策定方法等での特質(住民参加・大学との連携等・方向性の変更等)

- 復興推進委員会（5回開催）、復興推進委員会・部会（4回開催）
- 能登半島地震復旧・復興本部会議（12回開催）
- 能登半島地震復旧・復興連絡協議会（5回開催）
- アンケート調査（全市民対象、中高生対象）
- 復興まちづくり意見交換会（15回開催）
- 復興まちづくり対話会（中高生対象、町民対象、2回開催）
- 庁舎にSWOTボードを設置（部会の職員ワークショップで活用）

能登町 調査総括表(5/6)

6. 復興計画の概要(市町全体)

(1) 整備の基本的な考え方			(2) 整備にあたっての基本的な方針			(4) 復興構想図(市町全体対象)																													
<p>人口減少や少子高齢化、厳しい財政状況等の中で、地域経済の活力を維持・増進していくため、限られた地域資源の効率化と、持続可能なまちの構造の構築が必要なことから、「将来のまちの構造」を設定。</p> <p>■拠点の考え方</p> <p><中心拠点></p> <ul style="list-style-type: none"> 町の中枢拠点 各種都市機能（町役場や病院等）や人口の集積状況等を踏まえて設定 <p><地域拠点></p> <ul style="list-style-type: none"> 中心拠点を補完する地域 行政機能や人口の集積状況等を踏まえて設定 <p><交通結節拠点></p> <ul style="list-style-type: none"> 珠洲道路と主要地方道宇出津町野線が交わる地域を設定 <p><コミュニティ拠点></p> <ul style="list-style-type: none"> 公民館周辺を設定 <p><コミュニティ拠点（津波被害あり）></p> <ul style="list-style-type: none"> 白丸地区を設定 			<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33.33%; background-color: #FFFFCC;">住宅再建の方針</td><td style="width: 33.33%;"><ul style="list-style-type: none"> 被災者への迅速な給付金や義援金等の交付、住宅再建に関する相談や住宅再建関連情報の発信等の被災者支援に関する取組を継続的に実施 </td><td style="width: 33.33%;">コミュニティの復興方針</td></tr> <tr> <td></td><td><ul style="list-style-type: none"> 人々のつながりを促進し、「自分の居場所づくり」や「仲間づくり」、生きがいを育むことができる憩いの場や交流の場の早期形成 </td><td></td></tr> <tr> <td style="background-color: #FFFFCC;">浸水対策の方針</td><td><ul style="list-style-type: none"> 地震による地盤沈下や津波等による施設への影響を踏まえた、海岸保全施設、河川の堤防・護岸、港湾施設の早期復旧・強靭化 </td><td></td></tr> <tr> <td style="background-color: #FFFFCC;">火災対策の方針</td><td><ul style="list-style-type: none"> 消防団員の活動環境を整備し、消防活動における安全性の確保や機能の強化 </td><td></td></tr> <tr> <td style="background-color: #FFFFCC;">市街地の整備方針</td><td><ul style="list-style-type: none"> 被災状況や地域特性を考慮しながら、地区別復興まちづくり計画を策定 被害が甚大であった地域や、災害の危険性が増大した場所に居住する住民の安心・安全な生活の確保を検討 土地の利用規制や建築規制方法について検討し、被災地区の計画的な土地利用を推進 </td><td></td></tr> <tr> <td style="background-color: #FFFFCC;">避難体系の方針</td><td><ul style="list-style-type: none"> 地域住民が迅速かつ的確に避難できるよう避難路や避難誘導設備等の整備 </td><td></td></tr> <tr> <td style="background-color: #FFFFCC;">交通体系の整備方針</td><td><ul style="list-style-type: none"> 事業者への支援による公共交通の復旧 利用者ニーズの変化やまちの復旧・復興に合わせた地域公共交通等の見直し、のと里山空港の利用促進 </td><td></td></tr> <tr> <td style="background-color: #FFFFCC;">産業・生産、観光・交流の復興方針</td><td><ul style="list-style-type: none"> 水産業の共同利用施設の修繕 被災した商工業事業者のための仮設店舗での早期再開支援 宿泊施設をはじめとする事業用施設の復旧のため、なりわい再建支援補助金等の国・県補助金に町独自の上乗せ補助を行い支援 </td><td></td></tr> <tr> <td style="background-color: #FFFFCC;">景観・文化の復興方針</td><td><ul style="list-style-type: none"> 被災文化財の適切な修復・保護に向けた所有者負担の軽減を実施 指定・未指定を問わず、被災文化財の調査、救出、応急措置、一時保管、技術支援・活用等を実施 </td><td></td></tr> </table>			住宅再建の方針	<ul style="list-style-type: none"> 被災者への迅速な給付金や義援金等の交付、住宅再建に関する相談や住宅再建関連情報の発信等の被災者支援に関する取組を継続的に実施 	コミュニティの復興方針		<ul style="list-style-type: none"> 人々のつながりを促進し、「自分の居場所づくり」や「仲間づくり」、生きがいを育むことができる憩いの場や交流の場の早期形成 		浸水対策の方針	<ul style="list-style-type: none"> 地震による地盤沈下や津波等による施設への影響を踏まえた、海岸保全施設、河川の堤防・護岸、港湾施設の早期復旧・強靭化 		火災対策の方針	<ul style="list-style-type: none"> 消防団員の活動環境を整備し、消防活動における安全性の確保や機能の強化 		市街地の整備方針	<ul style="list-style-type: none"> 被災状況や地域特性を考慮しながら、地区別復興まちづくり計画を策定 被害が甚大であった地域や、災害の危険性が増大した場所に居住する住民の安心・安全な生活の確保を検討 土地の利用規制や建築規制方法について検討し、被災地区の計画的な土地利用を推進 		避難体系の方針	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民が迅速かつ的確に避難できるよう避難路や避難誘導設備等の整備 		交通体系の整備方針	<ul style="list-style-type: none"> 事業者への支援による公共交通の復旧 利用者ニーズの変化やまちの復旧・復興に合わせた地域公共交通等の見直し、のと里山空港の利用促進 		産業・生産、観光・交流の復興方針	<ul style="list-style-type: none"> 水産業の共同利用施設の修繕 被災した商工業事業者のための仮設店舗での早期再開支援 宿泊施設をはじめとする事業用施設の復旧のため、なりわい再建支援補助金等の国・県補助金に町独自の上乗せ補助を行い支援 		景観・文化の復興方針	<ul style="list-style-type: none"> 被災文化財の適切な修復・保護に向けた所有者負担の軽減を実施 指定・未指定を問わず、被災文化財の調査、救出、応急措置、一時保管、技術支援・活用等を実施 		<p>(4) 復興構想図(市町全体対象)</p> <p>Map illustrating the reconstruction plan for the entire town. Key features include:</p> <ul style="list-style-type: none"> Hub Types: Central Hub (Red), Regional Hub (Orange), Traffic Junction Hub (Pink), Community Hub (Green), Tsunami-affected Hub (Blue). Major Roads: Shūshū Expressway, National Route 249, National Route 249-2, Inubō-Tōtō Line, Inubō-Nanbu Line. Landmarks: Notojiyama Airport, Tsuruoka Port, and various districts labeled along the coast. Legend: <ul style="list-style-type: none"> Center Hub (Red circle) Regional Hub (Orange circle) Traffic Junction Hub (Pink circle) Community Hub (Green circle) Community Hub (Tsunami-affected) (Blue circle) Broadband Backbone (Dashed red line) Regional Backbone (Dashed orange line) Traffic Junction Backbone (Dashed pink line) Community Backbone (Dashed blue line) Public Hall Area (White box) Office Hall • Public Hall (Blue dot) General Office • Public Hall (Pink dot) Branch Office • Public Hall (Yellow dot) Office Hall (Blue dot) 		
住宅再建の方針	<ul style="list-style-type: none"> 被災者への迅速な給付金や義援金等の交付、住宅再建に関する相談や住宅再建関連情報の発信等の被災者支援に関する取組を継続的に実施 	コミュニティの復興方針																																	
	<ul style="list-style-type: none"> 人々のつながりを促進し、「自分の居場所づくり」や「仲間づくり」、生きがいを育むことができる憩いの場や交流の場の早期形成 																																		
浸水対策の方針	<ul style="list-style-type: none"> 地震による地盤沈下や津波等による施設への影響を踏まえた、海岸保全施設、河川の堤防・護岸、港湾施設の早期復旧・強靭化 																																		
火災対策の方針	<ul style="list-style-type: none"> 消防団員の活動環境を整備し、消防活動における安全性の確保や機能の強化 																																		
市街地の整備方針	<ul style="list-style-type: none"> 被災状況や地域特性を考慮しながら、地区別復興まちづくり計画を策定 被害が甚大であった地域や、災害の危険性が増大した場所に居住する住民の安心・安全な生活の確保を検討 土地の利用規制や建築規制方法について検討し、被災地区の計画的な土地利用を推進 																																		
避難体系の方針	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民が迅速かつ的確に避難できるよう避難路や避難誘導設備等の整備 																																		
交通体系の整備方針	<ul style="list-style-type: none"> 事業者への支援による公共交通の復旧 利用者ニーズの変化やまちの復旧・復興に合わせた地域公共交通等の見直し、のと里山空港の利用促進 																																		
産業・生産、観光・交流の復興方針	<ul style="list-style-type: none"> 水産業の共同利用施設の修繕 被災した商工業事業者のための仮設店舗での早期再開支援 宿泊施設をはじめとする事業用施設の復旧のため、なりわい再建支援補助金等の国・県補助金に町独自の上乗せ補助を行い支援 																																		
景観・文化の復興方針	<ul style="list-style-type: none"> 被災文化財の適切な修復・保護に向けた所有者負担の軽減を実施 指定・未指定を問わず、被災文化財の調査、救出、応急措置、一時保管、技術支援・活用等を実施 																																		
(3) 地区別の方針の概要																																			
地区名	復興の基本的な考え方																																		
宇出津地区	各種都市機能（町役場や病院等）や人口の集積状況を踏まえて、町の中枢拠点として「中心拠点」に設定																																		
松波地区、小木地区、柳田地区、鵜川地区	行政機能や人口の集積状況等を踏まえて、中心拠点を補完する地域として「地域拠点」に設定																																		

※地区別復興方針（詳細）は公表情報なし

能登町 調査総括表(6/6)

《能登町 調査総括表の各種データの出典等》

項目	出典等	備考
1. 被害の状況等		
(1) 被災前的人口	国勢調査、住民基本台帳	
(2) 人的被害の状況	石川県 HP	
(3) 都市計画等の状況	能登町 HP	
(4) 建物等被害の状況	罹災証明	
(5) 津波浸水被害の状況	復興計画	罹災証明等による被害の状況を行政区域、 都市計画区域、用途地域毎に整理
(6) 液状化被害の状況	—	
(7) 火災被害の状況	復興計画	
(8) インフラの状況	復興計画	
(9) 仮設住宅の整備状況	復興計画	
2. 各種ハザード・過去の被災状況		
(1) 各種ハザード状況	石川県 HP、国土交通省 HP	
(2) 過去の被災状況およびその後の対策	石川県「平成 19 年能登半島地震災害記録誌」	
3～5. (省略)		
6. 復興計画の概要（市町全体）		
(1)～(4)	復興計画のうち、復興まちづくりに関する内容を記載	
7. 地区別復興方針		
(1)～(5)	—	